

## 令和5年度第1回北杜市小淵沢エリア観光推進委員会 会議録

1. 会議名：令和5年度第1回北杜市小淵沢エリア観光推進委員会
2. 日 時：令和5年11月27日(月) 午後2時～
3. 場 所：生涯学習センターこぶちさわ 軽運動場
4. 出席者：  
【委 員】三井典子・遠山俊祐・中山宏樹・宮沢俊彦・丸原正直・  
渡邊喜彦・田中充・大川正勝・中村洋一・杉山歩  
【事務局】加藤郷志産業観光部長・皆川賢也小淵沢支所長・  
土屋直己観光課長・長坂恵一観光振興担当リーダー・  
田澤ゆか観光振興担当
5. 内容  
（1）開会  
（2）委嘱状交付  
（3）産業観光部長あいさつ  
（4）委員長及び副委員長の選出  
（北杜市小淵沢エリア観光推進委員会設置要綱第5条の規定により委員長に杉山委員、副委員長に中山議員を選出）  
（5）委員長あいさつ  
（6）議事  
① 委員会の概要、今後のスケジュールについて  
② その他  
（7）閉会
6. 公開・非公開の別：公開
7. 傍聴人の数：0人

## 議 題

### ①委員会の概要、今後のスケジュールについて

事務局：委員会の概要、今後のスケジュールについて説明。

委 員：最終的にどこをゴールとしているかを明確に、現実的に進めていくべき。構想すべてを網羅しようとするとう時間もお金もかかる。まず1つ小さくても成功事例を作っていくことが大切だと思う。山梨県の取り組みや予算組みの話はあるか。

委員長：2回目の委員会ではどんなことを検討するのか。また来年度はどのようなスケジュールを予定しているか。ワーキンググループと委員会のすみわけはどのようなになっているか。

事務局：今年の夏前からワーキンググループのメンバーにヒアリングを行ってきた。その中で、スピード感をもってやりたいという声があった。今年度については市の予算はないが、予算に頼らずにできること、皆さまのご協力の中でできることで実現性があれば早急に実施したいと考えている。今年度は2月ごろに情報を共有し、来年度へ向けていきたい。令和6年度に関しては、ワーキンググループで課題をしぼり、検討し、方向性を固めていく予定。山梨県の取り組みについては、これまでも観光部局と連携して取り組んできた。山梨県の観光振興課及びスポーツ振興課を通じて、山梨県に力強く要望ができればと考えている。その際には委員会の皆様にもご協力いただきたい。

委 員：この時期までにこれをやるという目標設定が大切になると思う。何をもちってサステナブルなのか、どの声を尊重していくのか、しっかりとした基準を作ることが必要。その基準をこの委員会で作ることができると、まとまった動きになる。

委 員：何か1つでも実行していくことは大切。いかに冬や平日、あるいは富士山方面から人を連れて来れるかが課題解決につながる。PR などのできる限り協力したい。

委員長：1つのアクションが小淵沢のブランディングにつながることもある。SNS などにおいても現状分析をしていただければと思う。

委員：八ヶ岳スケートセンターは今年オープンする。イベントなどを仕かけることから始めてはどうか。

事務局：夏場スケートボードができるよう整備を進めている。所管は教育委員会となる。八ヶ岳スケートセンターはワーキンググループのメンバーからも活用したいという声があった。この状況を教育委員会に伝える。

委員：小淵沢エリア全体の活性化を総合的に考えていくべき。

委員：ワーキンググループに人数制限はあるか。

事務局：人数制限はない。

委員：ブランディングを専門とする方をワーキンググループに入れてはどうか。いろいろな分野の方が入ったほうが様々な意見が聞けるのではないか。

事務局：ワーキンググループに入ることは自由。ただ、委員会のような報酬はない中での参加となる。

委員長：ワーキンググループへの追加参加は委員会を通す必要があるか。

事務局：本来であれば委員会に諮る必要があるが、前向きな動きとしてメンバーの追加に関してはご了承いただきたい。

委員長：強い心意気で小淵沢エリアの活性化に関わってくれる方がいれば良い。

委員：駅での情報発信を工夫していけたら良い。

委員：広い範囲を対象に進めていくのは難しい。小淵沢エリアをさらに分けてエリアごとの意見を集約する必要がある。

委員：観音平を整備してほしい。

委員：観音平については、市観光課を通して山梨県に要望を出した。

委員：観光において「食」はひとつのキーワードとある。山間地での「食」のイメージは弱い。名物になるようなものがほしい。

## ②その他

事務局：今回活発な意見交換ができたので、これをワーキンググループと共有しながら、小淵沢エリアの観光推進につなげていきたい。今後ともご協力をお願いしたい。

以上